



「下田まち遺産」を生かした 良好な景観の形成



〈下田まち遺産の周辺環境の整備〉
 〽歴史的建造物と都市公園の一体的整備〽
 静岡県下田市では、平成21年に下田市景観計画を策定し、計画において、景観資源を「下田まち遺産」と名付けました。市民から広く募集する形でこれまでに163件を認定し、うち17件を登録まち遺産として、市独自の補助制度において、維持管理の修繕費用やリノベーションに対して助成しています。また、平成30年に策定した下田市歴史的風致維持向上計画において、登録まち遺産のうち所有者の同意を得られた歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、良好な景観形成に向けた各種事業を行っています。

下田登録まち遺産
 下田市歴史的風致形成建造物：土藤商店（奥）
 下田市都市公園：大工町プレイス（手前）

〈下田まち遺産の周辺環境の整備〉
 〽歴史的建造物と道路美化化（修景舗装）〽
 登録まち遺産でもある「雑忠」は、幕末から現代に至るまでの歴史を現在に伝えており、下田を代表する歴史的建造物です。観光客も多く訪れることから、来訪客の周遊性向上と、エリアを良好な景観として整備することを目的に、街なみ環境整備事業を活用し、道路美化化（修景舗装）を実施しました。道路に面した外壁には「なまこ壁」と呼ばれる耐火性能を重視した伝統的な工法が間近に見られるほか、下田を中心に採掘されていた「伊豆石」も見ることができ、施設が持つ歴史性と修景舗装による、より高質な空間の形成ができています。



下田登録まち遺産
 下田市歴史的風致形成建造物：雑忠
 街なみ環境整備事業：道路美化化